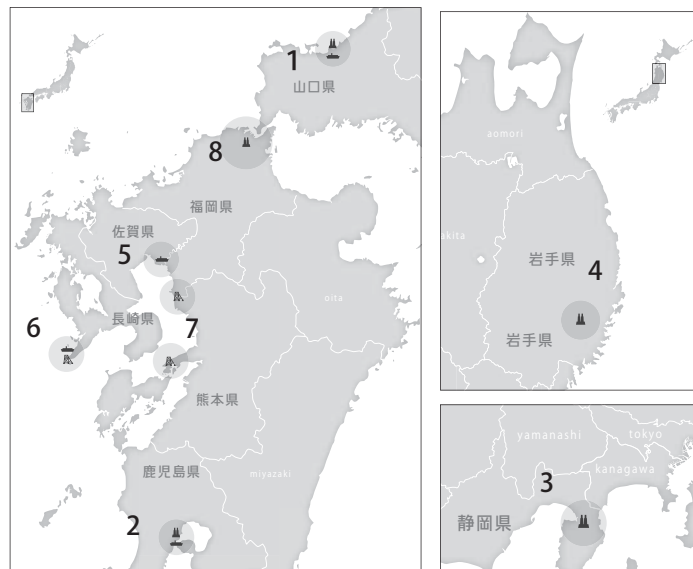


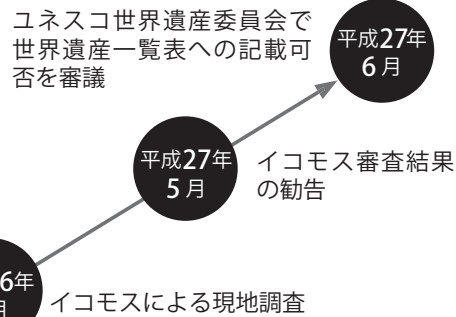
【構成資産一覧】

エリア	サイト	構成資産
1 (山口県) 萩	萩の産業化初期の時代の遺産群	萩反射炉
		恵美須ヶ鼻造船所跡
		大板山たたら製鉄遺跡
		萩城下町
		松下村塾
2 (鹿児島県) 鹿児島	集成館	旧集成館
		寺山炭窯跡
		関吉の疎水溝
3 (静岡県) 韮山	韮山反射炉	
4 (岩手県) 釜石	橋野鉄鉱山	橋野高炉跡及び関連遺跡
5 (佐賀県) 佐賀	三重津海軍所跡	
6 (長崎県) 長崎	長崎造船所	小菅修船場跡
		長崎造船所 第三船渠
		同 ジャイアント・カンチレバークレーン
		同 旧木型場
	高島炭鉱	同 占勝閣
		高島炭坑 端島炭坑
7 (福岡県・熊本県) 三池	三池炭鉱・三池港	
	三角西港	三角西 (旧) 港
	八幡製鐵所	同 遠賀川水源地ポンプ室
8 (福岡県) 八幡		



■ 構成資産

九州（福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・鹿児島県）・山口県を中心に、岩手県釜石市、静岡県伊豆の国市など全国8県11市に分散して立地していますが、相互に密接な関連性があり、群として全体で一つの価値ある資産として、世界遺産への登録を目指しています。



世界遺産登録に向けた取り組み

**登録の力を握る イコモス調査**

世界遺産登録を決めるコネスコ世界遺産委員会は、ICOMOS（イコモス）に資産の評価を委託します（文化遺産の場合）。

審査では「顕著な普遍的価値」を見分けるための登録基準に合致しているか、そして、登録以後、その価値をしっかりと保護・管理される体制ができていくかが問われます。つまり、世界遺産の価値があると認められても、その価値を地元が将来にわたり守っていかないと判断された場合、登録は認められません。

現在、「明治日本の産業革命遺産」はイコモスによる調査段階であり、9月には現地調査が韮山反射炉で行われます。その後、イコモスからの調査報告を受けて、同委員会は登録の可否について最終決定を行います。

— 特集 — **世界への約束**  
**世界遺産登録の意義と地元の責任**

7月26日に開催した「第4回伊豆の国市世界遺産シンポジウム」の基調講演およびパネルディスカッションの内容をお届けします。

市役所世界遺産推進課  
☎ 055-948-1425



撮影協力  
伊豆の国市国際交流協会

世界遺産とは、国境を越えて人類が共有し、受け継いでいくべき「顕著な普遍的価値」を有する資産のこと。1972年の国連のユネスコ総会で採択された世界遺産条約に基づき、文化遺産、自然遺産、複合遺産があり、現在、世界中で千を超える資産が登録されています。

韮山反射炉を含む「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の世界遺産登録可否決定を1年後に控えた今、改めて世界遺産登録の意義を見つめなおし、そして地元に住む私たちは何をしなくてはならないかを考えます。

**明治日本の産業革命遺産**  
**九州・山口と関連地域**

19世紀末から20世紀初頭、アジア地域で初めて、かつ、極めて短期間に近代化を成し遂げた日本。その成功を支えたのは、鉄と造船と石炭でした。そして、これらに関わる産業遺産を「日本の近代化の先駆け」として位置づけ、世界遺産への登録を目指しているのが「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」です。

鉄・造船・石炭鉱業から始まった「ものづくり日本」の源流を訪ね、その価値を未来へと伝えていくために、今、これら資産群の世界文化遺産への登録が必要とされています。

2014年7月現在の世界遺産の数  
( )内は日本国内の数

登録総数	1007 (18)
文化遺産	779 (14)
自然遺産	197 (4)
複合遺産	31 (0)



おかだ やすよし  
岡田 保良

(国士館大学教授)

前イコモス本部執行委員。現日本イコモス国内委員会副委員長。「明治日本の産業革命遺産」における専門家委員会国内副委員長として、葦山反射炉の世界遺産登録に向け、多面的な指導・助言を行う。

## 世界遺産登録の スペシャリストに聴く

すでに世界遺産登録に向け動き出している「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」。地元の皆さんは、本当の意味の“世界遺産”を知らなくてはなりません。

### 23の資産で一つの 価値を成す

ご承知のとおり、葦山反射炉は決して単独で登録を目指しているわけではありません。8つの県、11カ所、23資産が積み重なることにより一つの世界遺産としての価値を主張しようという事です。

葦山反射炉のある地元の皆さんは、葦山反射炉以外に「どのような構成資産があるのか」「それら一つひとつが、全体の価値に対してどういう貢献をしているのか」を理解しなくてはなりません。

### 「明治日本の産業革命遺産」の特徴

ヨーロッパ以外で初めて近代化産業革命を成し遂げた日本は、ヨーロッパ以外の地域で、鉄と造船と石炭を中心に、最も早く、そし

て効果的な近代化産業革命を成し遂げた場所。このことが他に例のない「顕著な普遍的価値」であり、世界遺産登録の価値を評価する中心になります。

### 多くの構成資産から成る

これまでの日本にも多くの構成資産から成る世界遺産は存在しましたが、今回ほど広域にまたがって、一つひとつがそれぞれに貴重な価値があるものはありませんでした。

### 現在の企業活動においても稼働している

長崎の造船所、三池炭鉱の三池港、新日鉄住金八幡や釜石の一部の資産では、現在も生産活動に寄与しているものもあります。

これまでは文化遺産への登録を目指す場合、日本では文化庁が事務局としてユネスコ世界遺産委員会（以下、「ユネスコ」という。）と調整を行ってきました。しかし、今回は文化財保護

法以外の法律により保全を図る資産もあることから、内閣府によって推薦書がまとめあげられ、ユネスコへ提出されました。

葦山反射炉に関しては、ほとんどのところが史跡であり文化庁の管轄です。しかし、横を流れる葦山古川に関しては河川法と景観法によって環境の維持を図っていくこととなります。

他にも三池港では港湾法が適用されるなど、文化財保護法以外の法律も活用し、広範囲に維持しているというのが特徴です。

### そもそも世界遺産登録とは

あくまでも「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約（世界遺産条約）」に基づく成約のことです。

登録の判断基準は「顕著な普遍的価値」。つまり、他より秀でたもので、将来

にわたり、世界のどこでも誰にとつても価値のある資産ということになります。

### 登録とは何か

年に一度、ユネスコによる会議が開催されます。その会議では、登録された一覧表を毎年改定していきます。この一覧表に書き込むことを登録といいます。登録されるものは必ず不動産であること。土地や建物、自然になります。

登録の種類としては、「文化遺産」「自然遺産」「複合遺産」の3種類。「明治日本の産業革命遺産」は、このうちの「文化遺産」への登録を目指しています。

### 登録されるまでの過程

ステップ①  
暫定リストをユネスコに提出、公表。

日本では「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」や「佐渡金銀山」など、現在10件ほどが暫定リストに掲載されています。

### ステップ②

推薦文書の作成、ユネスコに文書を提出。

「明治日本の産業革命遺産」は今年の1月に提出し、来年夏ごろの最終決定を待ちます。

来年は「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」が提出を控えており、日本では一つひとつ着実に登録に向けて作業を進めています。

### ステップ③

イコモスによる調査（文化遺産の場合）。最終決定。

ユネスコに提出された推薦文書は、ユネスコから委託されたイコモスにより調査されます。

その後、イコモスからの調査報告を受けて、ユネスコは登録の可否について最終決定を行います。

### 「明治日本の産業革命遺産」における「顕著な普遍的価値」

「顕著な普遍的価値」を認めるか否かを判断する指標として、文化遺産には6つの項目があり、いずれか一つに該当すれば認められます。

「明治日本の産業革命遺産」は、そのうちの3つの項目を満たしているといえます。

**世界的価値観の交流の表現**  
西洋技術の導入によって、日本の産業革命が成り立ったことが該当します。

**伝統文化・文明の稀有な証拠**  
日本古来の船を作る、鉄を作る、という長い伝統があったことが該当します。

**歴史的段階を代表する様式的模範**

産業を成立させるためには、それぞれの技術がセツトになったからこそ成し得たことが該当します。

### 知ってほしい 危機遺産リスト

危機遺産リストとは、登録されている世界遺産の中から、危機に瀕した遺産であると判断されたものを別表としてリストアップしたものです。現在、46遺産。今年には3つの遺産が追加、1つが除外されました。

危機遺産は、これから世界遺産の保存のために大きな作業が必要となるもの、国際的な援助がより重要なものが該当します。これもユネスコの会議で、毎年見直していきます。保有する国は毎年、調査結果などをユネスコへ報告しなくてはなりません。

修復が進んだ結果、危機遺産のリストから外れることもあります。

**危機遺産リストに書き込まれる理由**

・急速に進む損壊  
・大規模な公共事業や、都市開発などによる滅失の

### 危険

・土地の利用、または所有者の変更起因する破壊  
・大規模な災害  
などが上げられます。

本来は、危機遺産こそ、世界遺産条約が機能しないといけない遺産の対象です。危機遺産を救ってこそ、条約の意味が存在します。

**「明治日本の産業革命遺産」の危険性**

構成資産が多い分、それぞれの資産に危機が起こり得る可能性が高いということとを、皆さんは認識しなくてはなりません。

一つの資産でも崩壊へ向かうと、おそらく危機遺産リストに掲載されてしまうでしょう。場合によっては、世界遺産登録のリストからの削除もあり得ます。特に日本では、地震や津波などの災害による損害に注意しなくてはなりません。

# 登録はゴールではなく 新たな使命を担うスタート



撮影協力  
中区の皆さん

## 住民が守り育てる世界遺産のまち

伊豆の国の反射炉から、世界の反射炉へ  
そのとき私たち市民は…

多方面で活躍する皆さんに、「これからの課題」や「将来の理想とそれに向けた団体ごとの活動」などを伺いました。



中区  
川合基也区長

### 官民一体となって 整備していきたい

世界遺産登録が決まった富岡製糸場では、イコモスによる「登録」勧告が出た段階で報道も過熱になり、急激に観光客が増え、駐車場やガイド、トイレの不足などの問題点が浮き彫りになったと聞いている。

地元としては、市と一緒に葦山反射炉周辺を整備していき、多くの観光客が快適に足を運んでくれることを期待している。  
自分たち市民の意見が計画に盛り込まれることで、世界遺産登録への意識は必然と高まっていく。

### 心から自慢できる まちになれば

自分の体験から、もう一度訪れたいと感じる場所は、人に魅力があるところ。自分たちのまちを「おもてなし」の心で自慢してこころ。

伊豆の国市も市民一人ひとりが心から自慢できるまちになればと思う。そのためには、まずは私たち自身が知ることが大事。

世界遺産の保護は半永久的。私たち商工業者も地元で営む者として、葦山反射炉との共存こそが互いの長期的な存続につながる。そのためにも、次世代の子どもたちに継承していく必要がある。



商工会青年部  
前田泰宏相談役



伊豆市民オペラ協会  
守屋中理事

### 坦庵の精神遺産を 後世に伝えていく

郷土の偉人「江川太郎左衛門（坦庵）」の精神や功績を「オペラ坦庵」を通して発信している。

葦山反射炉が、そして、江川坦庵がこれほどまでにスポットを浴びて驚いている。

今後も、葦山反射炉を誇りに持つことはもちろん、オペラを通じて、坦庵の「精神遺産」を功績とともに後世に伝えていくことが大事。その精神が広がれば、葦山反射炉のみならず伊豆の国市の発展にもつながっていくのでは。

### 市民誰もが同じ レベルのガイドを

葦山反射炉への来場者は確実に増えている。しかし、残念なことにガイドをする人が不足しており要望を受け切れていないのが現状。少しでも興味のある人は、ぜひ声をかけてほしい。

これからは、ガイドするにも、反射炉のみならず他の構成資産とのつながりをもっと説明していかなくてはならないと感じている。

将来的には、小中学生をガイドとして養成するなど、市民誰もが同じレベルのガイドができるようになれば、すばらしいと思う。



歴史ガイドの会  
小松逸夫会長

## 平成27年夏 いよいよ世界遺産登録の 可否が決定

もし登録が決定したら…

ることで国際感覚は今以上に高まります。

### 私たちに課せられた 使命

それは、目の前にある世界遺産のことをよく学び、その由緒や価値をよく知ること。

私たちには、その遺産を世界の人々に、そして、ずっと後の幾世代までも伝えるという使命が発生します。登録は、私たちに託された使命です。

地元に住む私たちは、それら使命を守ることが世界へ約束しなくてはなりません。

### 登録直後

市内には、国内はもとより世界中から観光客が訪れ、多くのにぎわいをみせるでしょう。しかし、それは一過性のものかもしれません。

### 登録がもたらす 真の恵み

地元に住む私たちに託して登録がもたらす真の恵みは、「文化レベルの向上」かもしれません。

登録は、市民一人ひとりの文化に対する意識を向上させ、自分たちのまちを改めてよく知るきっかけとなります。また、世界中から訪れる人々と接す